

【学校教育目標】「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 8 号

令和 8 年 7 月 2 日
南島原市立堂崎小学校
校 長 末吉 優

子供を伸ばす会 【6月23日（火）】 図書室掲示（ワールドカップヴァージョン） ↓

学校評議員、民生児童委員、地区の老人会長、PTA本部役員の皆様にお集まりいただき、「子供を伸ばす会」を行いました。

学校で学ぶ子供の様子をお伝えすると同時に、学び合う姿を見ていただきました。また、学校教育に地域の皆様のお力添えをいただきたく、地域の教育支援計画（例：ミシン学習の支援、昔遊び・おもちゃ作りの支援など）について提案をさせていただきました。



【健闘は無く負けましたが選手の前向きな姿勢、支え合う姿が印象的でした。】

「いのちを輝かせて生きようとする心情を育む」という共通の目標がある中で、様々な立場から、何ができるか、どんな関わりをすればよいか話し合い、よりよい教育環境となることを願います。

通学路について話題になりましたので紹介します。

- ・自転車歩行者専用道路が通学路として活用していることもあり、自治会の中には、自主的に除草作業や清掃をしている自治会があることが紹介されました。
- ・スクールバスの停留所について、バスのルート（コース）とバス停についてお尋ねがありました。
- ・通学路の中には、バスの離合場所が狭く、道幅確保の要望を出している。

お話の部屋 : 読み聞かせ 【6月23日（火）】

図書館連携で、毎週月曜日に図書支援員：〇〇先生に来校していただいておりますが、読み聞かせをするに当たり選書をしていただきました。各先生方は、準備していただいた本や、先生方ご自身で準備した本を手にもって語りかけるように読み聞かせを行ったり、挿絵を見せるために電子黒板を活用しての読み聞かせを行ったりしていました。子供たちは絵本や物語の世界に入り込んだようにして聞き入っていました。読み聞かせの良さを実感しました。第2回目も、2学期の図書館祭りの時期に予定されています。



子供が幼い時に、絵本の読み聞かせを行われた御家庭が多いのではないのでしょうか。（独り言です）

ようこそ先輩！ 有家中学校から職場体験学習 【6月30日（火）・7月1日（水）】

2名の中学生が、堂崎小学校への職場体験学習にきました。社会や職場で必要とされる気持ちの良い挨拶・言葉遣い・時間を守る・人の話を聞く態度・進んで仕事に取り組む姿勢など、求められることは多いと思いますが、二人とも前向きな姿勢で取り組み、小学生もいつも以上に張り切っていました。特に、勉強でつまずきがあると優しく手をさしのべたり、掃除や給食の手伝いをしたりする姿が印象的でした。また、授業の中で、大切なことについてしっかりメモを取り、自分の学びを確かめようとする姿もありました。

2名はスクールバス通学でしたので、バスの運転手さんとの笑顔の会話を交わしたり、朝のあいさつ運動にも取り組んだりしました。2日間という短い時間でしたが、充実した職場体験学習となったことでしょう。中学校での更なる活躍を願います。



メディアの活用について考える

現在、メディア（スマホ・ゲーム・テレビなど）は常に子供たちの身の回りにあって、多くの人々が楽しく利用している反面、SNSによるいじめや誹謗中傷、情報漏洩などのトラブルも大きな社会問題の一つになっています。「便利さや豊かさ」を求めることは当然の営みと言えますが、同時に負の部分も生み出されてしまうということを考えておかないといけません。

こどもたちの心の根っこを育てるために大人のあり方を見直し、みんなでこどもを育てる「ココロねっこ運動」では、7月を強調月間と位置づけ、青少年の健全育成と環境浄化を目的とした取組を実施します。この期間中は、こども家庭庁が提唱する「青少年の被害・非行防止全国強調月間」が示す最重点課題等をふまえ、家庭・学校・地域社会・行政が連携・協働し、地域総ぐるみの健全育成・環境浄化の取組の一層の推進を図ることにより、「ココロねっこ運動」の更なる普及と実践化を目指していきます。

<ココロねっこ運動強調月間の重点実施事項>

- (1) 地域ぐるみのココロねっこ運動推進に向けた広報啓発及び取組の実施
- (2) 青少年の適切なインターネット・電子メディア利用に向けた取組の推進
- (3) こどもを取り巻く有害環境浄化及び非行防止・安全確保に向けた活動の推進



<「青少年の被害・非行防止全国強調月間」の最重点課題等>

◎最重点課題：インターネット利用におけるこどもの性被害等の防止

- 重点課題1：有害環境への適切な対応
- 重点課題2：薬物乱用対策の推進
- 重点課題3：不良行為及び初発型非行等の防止
- 重点課題4：重大ないじめ・暴力行為等の問題行動及びその被害への対応
- 重点課題5：再非行（犯罪）の防止



青少年の被害の現状についてスマホやSNSを始めとする様々な機器・サービスが急速に普及し、青少年を取り巻くインターネット環境が一層多様化する中、SNSやオンラインゲームを通じて面識のない被疑者と知り合い、性犯罪等の被害に遭った児童数は高い水準で推移しているそうです。全国的に、小学生の被害が大幅に増加しているというデータもあります。また、情報の不適切な発信により犯罪やトラブルに巻き込まれる機会の増加が懸念されています。青少年の被害・非行の防止のために、社会が一体となって積極的に取り組む必要があると考えます。

夏の交通安全週間 【7月11日（土）～7月17日（金）】

今回の交通安全週間の重点は、下記のとおりです。

- ① こどもを始めとする歩行者の安全確保
- ② 高齢運転者の交通事故防止
- ③ 飲酒運転等の悪質危険な運転の根絶



①について、**登下校の様子から感じること、指導していること。**

- ・白線の内側を一列で（無駄なおしゃべりをするこで、後ろ向きに歩く、2～3列になって歩く、時には中央方向へ飛び出すケースを見聞します。直接指導しますが、交通事故に遭う危険性が高い。）
 - ・車で送迎する場合、左側で降車させていただくのですが、すぐさま右側へ道路を横断するケースを見かける。
 - ・下校の際、学童等の車がいる中で、玄関前を走り出す。
 - ・極力、歩いて登下校をお願いしているのですが、車送迎の際、事故に遭わないことを願うばかりです。
 - ・緊急時における児童の送迎等については、6月18日（木）の文書のとおりです。
- 引き続き、道路交通法を遵守していただくようお願いします。